



練馬区体育協会 ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

創立 昭和24年10月(1949)

第 8 号

発行 昭和54年 4月28日

第三十一回練馬区民体育大会

野球・西武鉄道

サッカー・中村クラブ

全競技を終了する。



サッカー優勝の中村クラブ(右), 準優勝の旭町ユナイテッドクラブ(左)

八月開始された本大会も各競技とも順調に消化、軟式野球が十一月二十六日の決勝戦で、サッカー競技は十二月十七日で全日程を終了した。十二月にローリースケート競技、一月にスキー競技、最終種目のアイス・スケート競技が二月四日、それぞれ予定通り開催され、実に七ヶ月間に渡る区民体育大会の幕は閉ざされた。

軟式野球

◎一般の部 参加一八四チーム

九月十八日～十一月二十六日

準々決勝

西武鉄道1-0四葉クラブ

全大泉 6-5ワイルド

光栄ク 6-1ユンカーズ

川瀬ク 2-1ガイスクラブ

準決勝

光栄ク 2-1川瀬クラブ

西武鉄道3-0全大泉

決勝

西武鉄道4-3光栄クラブ

前半は光栄クラブのペースですすみ、之を西武鉄道が追う形で試合が展開した。中盤西武が得点一点差、最終回にまず連打で同点、急に乘る西武、逆に堅くなった光栄。尚、ランナーを置いての西武の攻撃は簡単な二塁ゴロ、延長かと思われた一瞬、これがエラーとなり、逆転のランナーがゴールイン、西武鉄道のサヨナラ・優勝と云うあっけない幕切れとなった。

個人表彰

最優秀選手 小野塚明(西武)

敢闘賞 大城清剛(光栄)

◎少年の部 参加十四チーム

準決勝

高松クラブ5-0田柄クラブ

開進クラブ4-1城北クラブ

決勝

高松クラブ2-0開進クラブ

個人表彰

最優秀選手 白川龍人(高松)

敢闘賞 山下忠行(開進)

サッカー競技

◎一般の部 参加二十八チーム

九月二十三日～十二月十七日

準々決勝

中村クラブ2-1北町ドンキズ

通研サッカ2-0練馬区役所

旭町ユナイ1-1石神井サッカ

古麻木 2-0TFC

準決勝

中村クラブ2-0通研サッカ

旭町ユナイ1-0古麻木

決勝

中村クラブ2-0旭町ユナイ

◎ジュニアの部

準決勝

石神井南 3-3アリバード

石東OB 3-1ブンデスリー

決勝

石神井南 5-0石東OB

ローリースケート競技

十二月二十八日 参加八二名

後樂園 ローリースケートリンク

◎小学生低学年

男子 二〇〇米レース

- 1 井口 冬樹 四六秒八
- 2 菅谷 久 四七秒五
- 3 鈴木 信博 五八秒三

女子 一〇〇米レース

- 1 小山 圭子 二八秒四
- 2 市川百合子 三二秒六
- 3 真野さくら 三六秒四

男子 三〇〇米レース

- 1 楠本 隆之 五五秒六
- 2 田原 博史 五七秒〇
- 3 小沢 栄一 五七秒九

女子 二〇〇米レース

- 1 佐藤恵美子 五四秒四
- 2 佐藤 尚子 五八秒〇
- 3 市川 愛絵 五九秒二

男子 五〇〇米レース

- 1 安田 裕浩 一分三六秒三
- 2 竹中 誠 一分三八秒二
- 3 鈴木 利幸 二分一五秒四

女子 三〇〇米レース

- 1 藤原つぐみ 一分〇二秒八
- 2 寺沢 康子 一分〇九秒四
- 3 天羽 登子 一分二〇秒四

男子 五〇〇米

- 1 中村 千里 一分三一秒六
- 2 伏見 秀文 一分四六秒四
- 3 設楽 明彦 一分五四秒三

男子

- 1 小山 吉男
- 2 市川みどり
- 3 壽野 佳恵

女子

- 1 及川 和子
- 2 市川みどり
- 3 壽野 佳恵

男子

- 1 杉崎寿三男
- 2 中村 純一
- 3 菅谷 忠

女子

- 1 田中 一則
- 2 平林 純一
- 3 柴田 博

男子

- 1 中村 一則
- 2 平林 純一
- 3 柴田 博

四部 (四五才以上)

- 1 吉田 光孝 三五秒三
- 2 今飯田 豊 三八秒六
- 3 原田 文男 三八秒六

男子

- 1 小林 紀子 四三秒一
- 2 原 生子 四四秒四
- 3 小林 重子 四四秒五

女子

- 1 大津 靖子 三九秒七
- 2 角館 直子 四二秒五
- 3 辻みさと 四五秒三

男子

- 1 原 方子 一七秒一
- 2 清水 安子 一七秒五
- 3 原 佳寿美 一八秒六

女子

- 1 藤島教文 一分四八秒五
- 2 今野文隆 一分五四秒三
- 3 原口勝幸 一分五九秒八

男子

- 1 堀野栄之 一分〇四秒五
- 2 石井康夫 一分〇八秒三
- 3 桐原誠治 一分一一秒二

女子

- 1 伏見由美 一分三四秒一
- 2 大川明子 一分四八秒七
- 3 真壁直己 一分五一秒四

男子

- 1 川瀬武蔵 十三秒六
- 2 太田 孝 十四秒二
- 3 富本 信 十四秒八

女子

- 1 藤島教文 一分四八秒五
- 2 今野文隆 一分五四秒三
- 3 原口勝幸 一分五九秒八

男子

- 1 堀野栄之 一分〇四秒五
- 2 石井康夫 一分〇八秒三
- 3 桐原誠治 一分一一秒二



※ いずれも大会新記録
 ◎少年 女子 五〇〇米
 ◎少年 男子 五〇〇米

◎初級者の部
 ◎初級者の部
 ◎初級者の部

◎初級者の部
 ◎初級者の部
 ◎初級者の部

◎初級者の部
 ◎初級者の部
 ◎初級者の部

◎初級者の部
 ◎初級者の部
 ◎初級者の部

◎初級者の部
 ◎初級者の部
 ◎初級者の部

<p>新西工業株式会社 練馬区土支田4-18-34 TEL(925)0268</p>	<p>全日本弓道具協会会員 曾根正康 〒166 東京都杉並区 高円寺北4-20-3 TEL336-0731(代表)</p>	<p>純中国料理 新麒麟大飯店 練馬区豊玉北5-17 TEL994-2233代</p>	<p>日本大学芸術学部 空手道部 責任者 生沼 剛</p>
--	---	--	---

創立三十周年記念事業

新方針を確立・発表

本協会 定期総会は昭和五十四年四月十一日(水)午後七時より、区教育委員会・会議室に於て開催された。

事業計画

- 第三十二回東京都民大会への参加
- 第四回区体協幹部研修会
- 第三十二回区民体育大会の開催

- 創立三十周年記念式典
- 第二回加盟団体幹部講習会
- 新年・募金オクシオン
- 区民スポーツ教室の開催
- ・十五競技
- 加盟団体会長会の開催
- 区体育指導委員会との懇談会
- 区内スポーツ店との懇談会

新役員構成

- 会長 小口政雄 留任
 副会長 前田鉄男 留任
 副会長 奥田真輔 留任
 副会長 奥山則男 留任
 常任理事 野口嘉郎 留任
 山下 誠
 寺崎 武
 長谷川義夫
 台田友夫
 滝沢栄吉
 落合忠士

常任理事 松井昭武 留任

本間弘一

中沢 明

吉田邦治

江口義之 新任

下村 緑

成田収司 区教委

小島義郎

佐藤利夫

徳山 靖 新任

横山鉄次 留任

※ 常任理事よりの職務分担は次の会議に於て選出する。

創立三十周年記念事業

- 1 記念式典・表彰・祝賀会の開催
- 2 三〇周年記念誌の製作・発行
- 3 スポーツ少年団の創立

水泳連盟・ラジオ体操連盟の加盟促進

地域体育会結成の推進

まずモデル地区体育会を結成する。

スポーツ団体連絡協議会の設置

体育指導委員会

スポーツ指導員・リーダー会

区体育協会

の三者連絡会をつくり、区体育行政を推進する。

加盟団体との共催事業の拡大

体協財源の確保

まず我々は、創立三十周年と言う記念すべき年度を迎え、心を新にして、その使命達成に邁進しなければならぬ。

全く違った体質とも言える二十競技団体の集合体であったものから力の結集団体としての脱皮を図るべくこの二ヶ月間、色々の努力と新方式をこころみて来た。それにより、それぞれの競技を越えての交流を図り、自分達の体協への認識が深まった。簡単なことだが、

第二回練馬区バドミントン・オープン選手権大会

昨年より新事業として開催したオープン選手権・第二回大会は、三月二十五日(日)練馬区総合体育館に於て男女九二組・一八四名が参加して盛大に開催された。

主催 練馬区バドミントン協会

主催 練馬区体育協会

◎男子一部

優勝 遠藤・藤原組 (KDB)

二位 新井・前山組 (エーデル)

三位 杉山・辻組 (フイー)

村田・野中組 (羽桐会)

◎男子二部

優勝 杉本・石原組 (KBC)

二位 星野・倉知組 (KBC)

三位 加藤・千葉組 (区役所)

今野・米山組 (練馬)

◎新人戦

一位 谷 広明

二位 安東弘田

三位 田中義和・井上博之

女子

一位 石田奈々江

二位 野添京子

短期間で出来るものではない。正直、全てが我を捨て、体協一本にはまだまだ言いがたい。

これからの執行部の責任とも言える。又、体協自体に財力を持たねばならない。この点に關しても新しい方法をもって対処したいと考えている。そして、体協の組織の拡大と区民への浸透を図り、地区体育会結成と進むことにより練馬区体育協会の未来が開かれて来るのではないだろうか。

楽しい、明るい、区民と共に歩む体協づくりに、頑張ろう!! (野口 嘉郎)

原 康 男

株式会社 吉 田 公 務 店

練馬区春日町 6-1-5 吉 田 光 守 TEL(998)3156

練馬区富士見台 2-40-25
TEL 970-5951

練馬区体育協会 新年会

八十名が参加して豊島園にて開催

恒例の新年初顔合せの会は、一月十八日(木)午後六時より、豊島園レストラン、それゆゑに於て、来賓に田畑区長・岩波教育長・豊田区議会議長外二十一名、加盟団体の各会長、体協幹部、関係者が出席、盛大に開催された。

野口理事長の司会によって開会、前田体協副会長、岩波区教育長の挨拶、成田体育課長の首頭で乾杯、ついで来賓を代表して田畑区長、豊田区議会議長、小林文教委員長の祝辞が行われた。

加盟団体代表としては、体協副会長で軟式野球連盟の奥山則雄会長を始め、柔道会幹副副会長、ライフルの大橋静男会長、相撲の矢崎久雄会長、空手の土佐邦彦会長、スキーの飯地勲彦会長、卓球の吉田公二会長等ほとんどの皆様が見

えられ、今迄にない盛況で、スポーツ界の話題に花が咲き、時のたつのも忘れ観戦がつづいた。後半に入り、前年より実施の体協基金確保のオクシジョン・バザーの開幕、山下副理事長、本間常任理事の玄人願負の、せり売り、参加者より寄贈された一〇〇余点の品物も、あつと賣り間に売切られ、店じまいとなった。

●売上金 七四、二五三円
 ◎全額 体協会計に繰入れ
 九時、三浦区助役の、奥田副会長の開会のことばで、新年会の開幕となった。
 小口体協会長がバドミントン・ワールドカップの大会期間中のため欠席されたことが本場に残念でした。

練馬区少年サッカー選手権大会

一部・豊二サッカークラブ

二部・石東少年団Aが優勝

主催 練馬区サッカー協会

練馬区体育協会

後援 練馬ライオンズクラブ

期間 十一月二三日より

一月二十八日まで

参加 一部 二十五チーム

二部 二十六チーム

成績 一部(六年生以下)

準々決勝

豊二 8
 5 1 0 0 北町

中西小 1 1 1 1
 0 0 0 0 1 田柄二

3 PK 2

南町 1 1 1 1
 0 0 0 0 1 光和

4 PK 2

富士見台 1 1 0 0
 0 0 0 0 0 豊南

準決勝

豊二 2 0 1
 2 0 0 1 中西小

富士見台 1 0 0 0
 1 0 0 0 0 南町

三位決定

南町 1 0 0 0
 1 0 0 0 0 中西小

決勝

豊二 1 0 0 0
 1 0 0 0 0 富士見台

二部(五年生以下)

準決勝

石東 12 8 0
 4 1 0 0 0 富士見台

向山 4 1 1 1
 3 1 0 0 1 南町

三位決定

南町 1 1 1 1
 3 1 0 0 1 富士見台

決勝

石東 4 1 0 0
 3 1 0 0 0 向山

少年団A 4 1 0 0
 3 1 0 0 0 少年団

十一月二十三日、全参加チームが中大グラウンド跡地に集會、盛大に開会式を開催、区教育長杯争奪の熱戦は展開された。

寒風吹き荒れる日、小雨の日、小雪のちびつぐりの悪条件も、ものともせず、元気な少年の熱戦は正月休み、毎日曜日毎に消化、一月

二十八日 一部・二部とも中大跡地グラウンドでの決勝戦となった。二部では石東が地力を発揮、くさがる向山を一蹴、教育長杯を手中に収めた。

一部決勝はさすが四試合を勝ち抜いて来た両チーム、一歩もゆるまず一進一退の好ゲーム、延長、又延長、ついに豊二の執念のシューティングがきまり、ゲーム・セット、念願のチャンピオンの座に就いた。

敗れたとはいえ、富士見台の善戦取調は、それ以上に評価したい。練馬ライオンズクラブの全面的な支援により、立派な参加軍に加えて入賞チームにトロフィーが贈られ、少年連は頬を赤くそめ、感激にひたっていた。

サッカー協会関係者の努力にライオンズクラブの後援、父兄の協力一体となつてこの大会は意義ある内容と立派な成績で幕を閉じることが出来た。(野口嘉郎)

第一回・加盟団体幹部講集會 二日目

テーマ「運動生理とトレーニンング」

昭和五十三年度の講習會第二日は二月十六日(金)午後六時五十分より区公民館・二階教室に於て開催された。

第一日の十一月十五日に比べ、衆知徹底しなかつたのか、四団体よりの代表が不参加で人員では少なかった。

まず、小口体協会長の挨拶、続いて短編映画「生活とスポーツ」を映写、七時半より

昭和区大助教授 佐藤三千雄先生の「運動生理とトレーニンング」についての講演が行われた。人間のからだについて、骨格・筋肉と神経・循環器・消化器を中心に、これらが人間の動きに、いかにつながつており、どの様な働きをしておるかについて、素人の我々にわかりやすく説明して下さった。

トレーニンングについてこの項目は、残り時間も少くない、概略の説明で終った。二回にわたるこの講習會で、指導者としての我々が少なくとも知っておかねばならない一応の知識を身につけることができた。忙しい中、本協会のため、ご協力下さった佐藤先生に紙上よりお礼申し上げます。

終了午後九時 参加 四十名 (野口嘉郎)

発行 東京都練馬区中村北一九一〇区教育委員会内 練馬体育協会
 代表 小口 政雄
 編集 野口 嘉郎